

図書館だより

発行：三島市立図書館
 所在地：三島市大宮町1-8-38
 電話：0559(83)0880

—郷土資料の紹介—

箱根用水

箱根用水（深良用水）は、小学校の社会科學習として取り上げられることもありご存じの方も多いと思います。

この用水計画は、水不足に悩む深良村の名主大庭源之丞により発案され、江戸の町人友野与衛門らの資金調達、箱根権現別当の協力により1666年に工事開始、莫大な資金と人力を投じ、1670年に隧道全長1350mが完成しました。芦ノ湖西岸湖尻峠の山裾を手作業で、箱根口・深良口から掘り抜き、芦ノ湖から駿河国駿東郡深良村（現在の裾野市）へ水を引き、深良村他29カ村の水田約530町余を灌漑しました。

この工事は、タカクラテルの小説、「箱根用水」などによって偉業として伝えられていますが、箱根湖水側では芦ノ湖の水を自ら管理し、分水することができないということで、明治以降には「逆川事件」など水利権をめぐる争いが起き、箱根側と駿東郡側では、用水に対する思いが異なるようです。

現在では、灌漑用水のみではなく、生活用水として、裾野市・長泉町・清水町・御殿場市で利用されています。

参考資料

深良用水の沿革

静岡県芦ノ湖水利用組合編

箱根用水史

佐藤隆 著

裾野市史

裾野市史編纂委員会

裾野市史研究

裾野市史編纂委員会

芦ノ湖の水権利

芦ノ湖の水権利を考える会編

箱根用水

タカクラテル 著



箱根用水と
宝曆治水物語
清田進 著

この春、図書館がますます便利になります！

～雑誌の最新号の予約ができます～

雑誌は、今まで、次の号（最新号）が出てから、予約を受けていましたが、4月1日から、最新号も棚に並ぶと予約ができるようになります。

～移動図書館車・ジンタ号が徳倉2丁目へ～

4月14日からジンタ号が、子どもの本や小説・実用書など、2500冊の本を載せて、下記の場所へも巡回します。新しい情報や楽しい読みものが、いっぱいの車です。

新巡回場所 関野ハイツ駐車場 (徳倉2丁目12-41)

巡回日 毎月第2金曜日 14:15 ~ 15:00

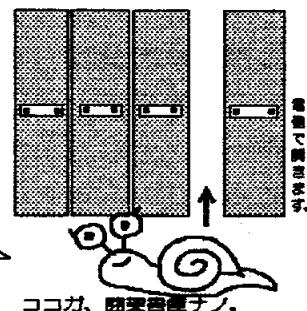


「閉架」ってな～に？



Q：利用者端末で検索をしていると、館内の所蔵場所（本のあるところ）のところに『閉架（へいか）』という言葉がでてくるときがあります。これはいったいなんなのでしょうか？

A：2階の図書館事務所奥に、約20万冊の図書を収蔵できる『閉架書庫』と呼ばれる、本の倉庫があります。ここは、たくさんの本を置けるよう、必要なところだけ通路を開けて作業する電動集密書架となっており、お客様の安全のため職員しか入れません。



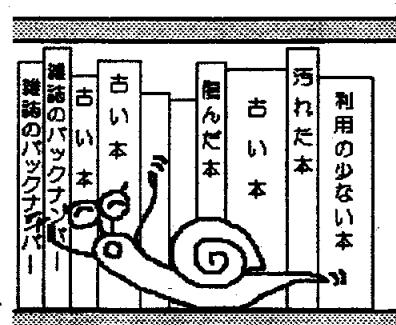
ココガ、閉架書庫ナゾ。



図書館には約21万冊の本があります。これに対して、1階（開架）の図書館部分に置いておける本は、約14万冊分だけです。そんな訳で、入りきらない分は、『閉架』にしまってあります。

『閉架』においてあるものは、あまり利用がなくなった本、古くなつて傷みが激しい本、雑誌のバックナンバーなどです。役に立つ本や、貴重な本なども数多くあります。

調べ物や読書などに、ぜひご活用ください。読みたい本が『閉架』にある場合は、カウンター職員までお気軽にどうぞ・・・。



閉架の書架にて・・・

閉架書庫内資料請求票

この用紙は閉架書庫内の資料請求のみに使用します。見送りりまじめらかうすカウンターへお返しください。館外へ出ら出すときは貸出手続きをとつください。

受付時間 9:30~12:00 13:00~17:00

請求記号	資料名
フリガナ	正名

この用紙が利用者端末の横にありますので、ご記入のうえカウンターへお持ちください。



私と読書 ~心に残る一冊~

望月 敦子（図書館ソポーター）

図書室にある児童書を夢中になって読んだ小学生時代から今までに、たくさんの本との出会いがありました。

その折々に関心を持った本や作家を思いうかべると、その時の自分の有り様がわかつて、ちょっとした自分史のようで興味深いものがあります。

その中で、いつまでも手元に残しておきたいのは、住井すゑさんの長編小説「橋のない川」です。



橋のない川 1~7
住井すゑ 著

若い頃に初めて読んだ時、理不尽な差別に翻弄されながらも、清々しく生きる誠太郎・孝二兄弟と彼らを取り巻く人々に、深く感動しました。人間の尊さに目を開かせてくれた、忘れられない一冊です。今でも読み返すと心打たれます。

また、生涯をかけてご自分の信念を貫き通した、住井さんの凛とした生き方にも感銘しました。続編を楽しみにしていましたし、いつまでも書き続けて欲しかったのですが、平成9年に、95才でお亡くなりになりました。

今、図書館ソポーターとして、返却図書の配架作業をお手伝いしていますが、ここでもたくさんの本との出会いがあります。新たな心に残る一冊と巡り合えるのを楽しみに活動しています。

～視聴覚コーナーからおしらせ～

花の旅はいかがですか？

日に日に暖かくなってきました。様々な植物が花開く春です。

視聴覚コーナーでは、そんな季節にふさわしいビデオを集めてみました。

庭園紀行、ガーデニング、フラワー・アレンジメントなどなど、色々なジャンルのものがあります。

また、今年亡くなられた、田中澄江さんの手による『花の百名山』の紹介もしています。

田中さんは、1939年に劇作家としてデビューしました。多くの戯曲や小説を発表する一方で、女性の登山グループを主宰していました。

山や野の草花を愛し、エッセーなども執筆しています。その中でも有名なのが『花の百名山』です。

1980年に出版されたこの紀行文は、翌年に読売文化賞を受賞。今でも軽登山のバイブル的存在です。

その後、映像化もされました。当コーナーにあるのは、そのビデオです。

この春、軽やかな風を『花を巡る旅』で感じてみませんか？

その他の資料（ビデオ）

大雪山・花紀行～「神々の庭」の短い夏
日本・花の旅① 春に咲く花

南仏プロヴァンス ハーブ街道を行く
オードリー・ヘプバーンの庭園紀行
ガーデニングレッスン（全10巻）

子どものへや

あたたかくなったら、外に出てたねをまいてみよう
なにがそだつか、おたのしみ …たねのえほん…

「いろいろのたね」おおむらゆりこ／絵 なががわりえこ／文 E・オオ
　　ゆうじは、キツネとたがらもののこうかんをして、
　　いろいろのたねをもらいます。にわにうめられたら
　　たねからでてきたのは、なんと、おうちでした!?



「おてだまのたね」 鏑茂恭子／絵 E・オリ
「トゥーレのたねまき」 ティードホルム／作 E・ティ
「すいかのたね」 さとうわきこ／作 E・サト
「ちいさいタネ」 リック・カール／作 E・カル



* みんなは、どんなたねをまくのかな?
　めがでたら、としょかんにもおしえてね。

図書館Q & A

Q 「児童書コーナーの調べものの本が
　借りられないのは、なぜ?」

A) 三島市内の小学生は、皆同じ教科書
　で勉強しています。

従って宿題も同じ時期に同じテーマの
　調べものが重なることが多くありますが、
　図書館にある同じテーマの本には限りが
　あります。一度にひとり10冊貸し出し
　してしまうと、次に来た方が調べること
　ができなくなることもあります。大勢の方
　が同じ目的で来館された場合、より多
　くの方に利用していただくために、本を
　館内で調べてもらうようにお願いする
　ことがあります。その場合は、館内で書き
　写すか、コピーサービスを利用してください。

なお、調べ物の宿題をする時には、必
　ずノートと鉛筆を用意してください。
　ご理解・ご協力をお願いします。

漢詩入門講座が終了

漢詩に馴染もう～分かりやすい名詩の
　紹介～という演題で2回にわたり漢詩の
　基礎講座を開催しました。

講師には徳永昌先生（伊豆市民劇場委
　員長・三島文化芸術協会副会長）をお迎
　えして、中国の歴史や地理を交え、有名
　な漢詩や詩人についてとてもわかりやす
　く丁寧に講義していただきました。

参加者は第1回目が181人、第2回目
　が171人と大変好評をいただき、いつも
　講座等への参加の少ない中・高年男性が
　聴講者の半数近くを占めるなど、新しい
　層の参加を得ることができました。

